

もけいで学ぼう！ けんちくのしくみ 2020

小学生限定模型制作ワークショップ

日本建築文化保存協会（東京都品川区、三宅康之会長）は2020年12月5日に「もけいで学ぼう！けんちくのしくみ2020」を午前の部（11:00～12:30）、午後の部（14:00～15:30）の二部制でオンライン開催し、計65人の小学生が参加した。今回のテーマは「ドームをつくろう！」。事前に送られた模型作成キットで講師の指導の下、ドームを作る。講師は齋藤公男氏（A-Forum代表・日本大学名誉教授）と山田誠一郎氏（dos代表）。はじめに川野愛氏（日本建築文化保存協会）が開催趣旨などについて挨拶。講師の紹介の後、講師の齋藤公男氏が海外や日本にある様々なドーム空間を紹介。集いの空間の魅力について講義した。その後、模型の作り方の映像を見る。かわいらしいパペットとサンタ姿の山田誠一郎氏がわかりやすく模型の作り方を説明。モニター越しに子供たちは真剣に聞いていた。

いよいよ実際手を動かして模型作りを開始。最初に説明された手順に沿いながら子供たちの進行状況に合わせて進めていく。すらすら進んでいく子から首をかしげながら悩む子まで反応は様々。ドーム完成後は庭やドーム内部、このドームに入る人や動物などを作成する。ドームに対して人やものの大きさは？ スケールを調整したりしながら熱心に作業を進めていた。最後に出来上がったドームをプレゼンし、イベントは終了した。

＜概要＞
会場 オンライン開催（Zoom 利用）
主催 一般社団法人日本建築文化保存協会
共催 一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会
助成 独立行政法人国立青少年教育振興機構
後援 品川区 / 一般社団法人日本建築学会 / 公益社団法人日本建築家協会 他
協力 A-Forum / dos 他

■ テーマ：ドームをつくろう！

ドームとは元々、大ぜいの人々が一度に集まれる丸い屋根付きの建物のごとで、何千年も歴史があります。家族が暮らす小さなドームのうちは「ほくの、わたしのドーム」をつくってみましょう！



もけいで学ぼう！ けんちくのしくみ 2020 小学生限定模型制作ワークショップ



■ 日時：2020年12月5日（土）
① 午前の部 11:00～12:30 ② 午後の部 14:00～15:30
■ 会場：オンライン開催（Web会議システム Zoom 利用）
■ 定員：各回 25名 ※お申込順
■ 参加費：無料 ※ご自宅へ参加の材料費をお送りいたします。
■ 申込先：E-mail 申込先 申込先にてお申込みください。 ※詳細はこちらをご覧ください。
E-mail: event@archi-depot.or.jp Tel: 03-4405-8274
【主催】一般社団法人日本建築文化保存協会
【共催】品川区青少年教育振興機構
【協賛】品川区青少年教育振興機構
【後援】品川区 / 一般社団法人日本建築学会 / 公益社団法人日本建築家協会 他
【協力】A-Forum / dos 他
※詳細はこちらをご覧ください。



挨拶する川野愛氏（日本建築文化保存協会）



今回大活躍したパペットたち



今回のワークショップのテーマは「ドーム」としました。ドームの原義は「家」。大ぜいの人たちが集まる大建築もドーム空間です。ドームは楽しくて、丈夫な建築。大昔から現代まで、人間が追い求めてきた魅力的なテーマです。皆さんが頑張ってくつてくれた、いろいろなドームの中にはたくさんの「夢」が見えてきます。育てて下さいね、その夢を。また会いましょう！

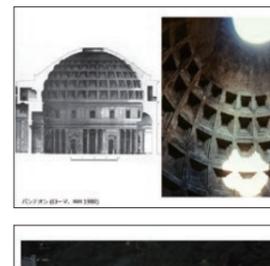
齋藤 公男

ドームの作り方を説明しました。手順が進むにつれて難しかったでしょうか。皆さんの写真を見せてもらって、楽しんで作った様子が目に浮かびました。これをきっかけにドームや建物について、見に行ったり調べたりしてくれたら嬉しいです。

山田 誠一郎



様々な集いの空間を紹介する講師の齋藤公男氏



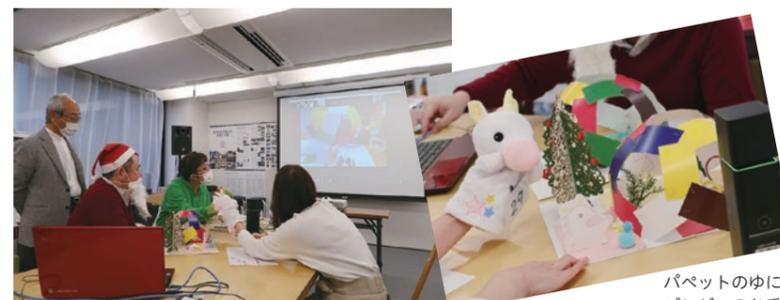
講義で使われたスライドの一部。「こんな昔からこのような空間があるのか」（感想より）と参加した子供たちは真剣に聞いていた



ドームの作り方を説明する山田誠一郎氏



ドームをどういふ大きさに設定しようかな？
このドームに対して人間の大きさは？



配信元では大きいスクリーンに映して参加した子供たちの進行状況をチェック



今回の講師とスタッフたち



大盛況のなか無事イベントは終了した



おうちの参加者の作業風景